

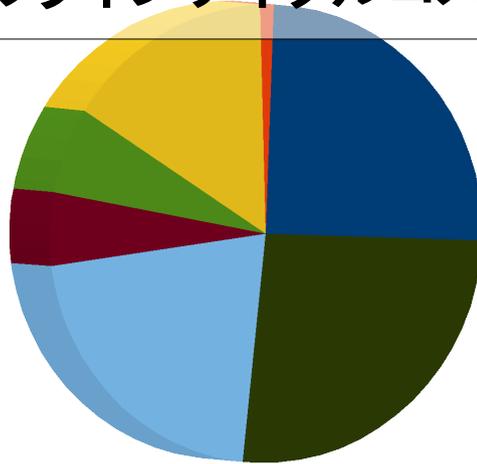
# 断熱紫外線 (IRUV) カットコーティングシステム



1. 開発背景
2. 商品説明
3. 特長
4. 写真
5. データ
6. まとめ

# 1. 開発背景

## 建築物のライフサイクルコスト



運用費 = 水道光熱費 21.2%

可視光は透過させ  
紫外線と赤外線は  
カットする

■ 建設費	25.1%
■ 企画設計費	1%
■ 保全費	15.4%
■ 修繕費	6.1%
■ 更新費	5.2%
■ 運用費	21.2%
■ 一般管理費	26.1%

建築物のライフサイクルコストの中で運用費が大きな割合を占める。その中でも冷暖房費の占める割合が大きい。冷暖房費の削減には、ガラスから入り込む熱線、紫外線、赤外線をカットしなおかつ、照明の使用を抑えるために可視光線は出来るだけ透過させる。そうすることにより、冷暖房エネルギーを15~25%カット、同時に紫外線をカットし家具、調度品、室内の人間を守り、蛾などの虫害を防ぐ。CO2排出削減、エネルギー削減、産廃の削減をするコーティング材の作成。

## 2.商品説明

☆皮膚に害があるといわれている  
紫外線を98%以上カット

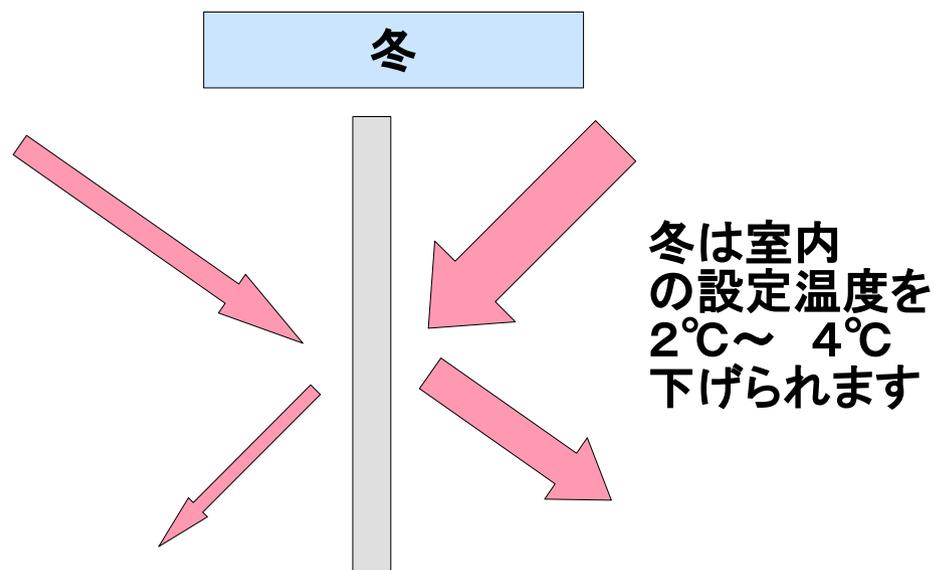
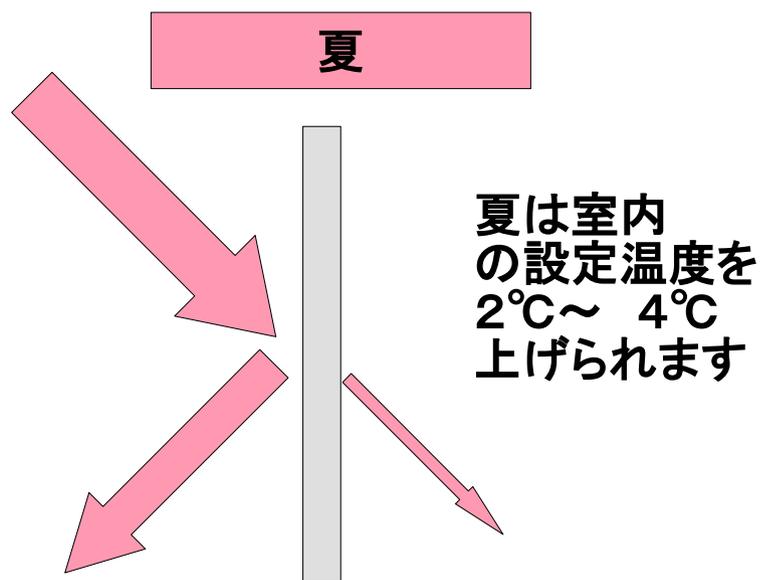
<夏場>

太陽からの赤外線を93%カット  
室内エネルギーロス15~25%削減

<冬場>

室内からの遠赤外線を93%カット、  
室内エネルギーロス15~25%削減

☆無機系で長期耐久性



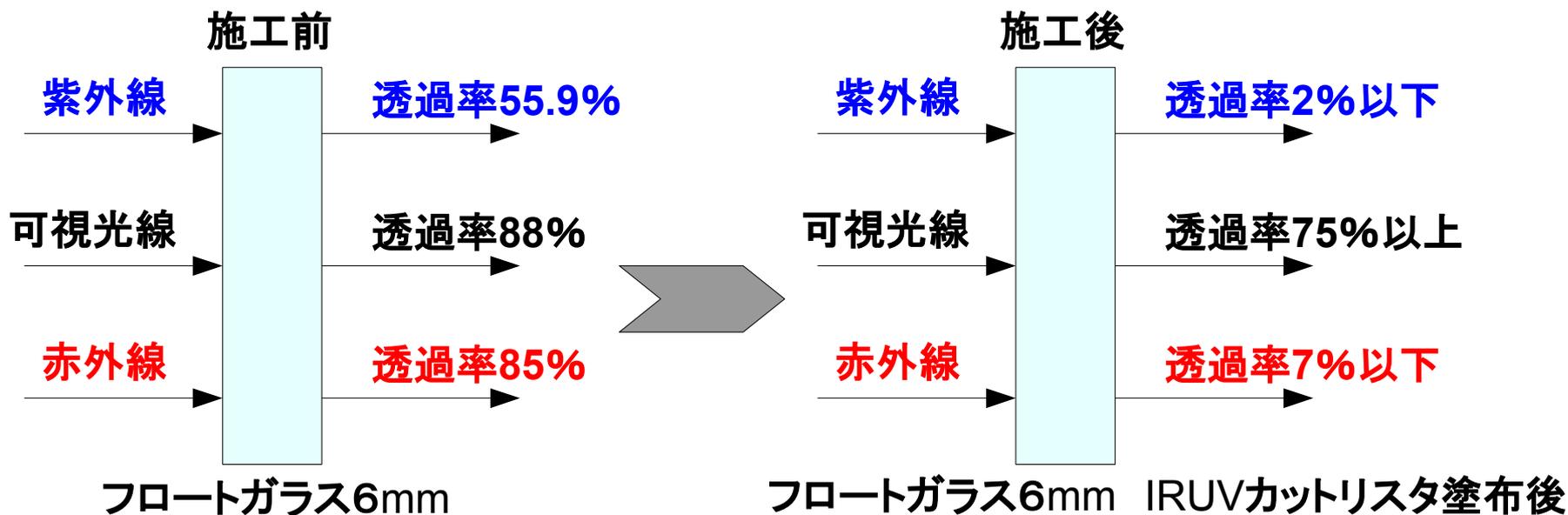
### 商品セット

- ・IRUV〈熱線、紫外線〉
- ・カットリスタ
- ・プライマー
- ・剥離材
- ・剥離材中和剤
- ・油膜とり〈Eパワーハード〉

# 3. 特長

紫外線カット率、赤外線カット率  
耐久性、  
現在製造販売されている  
熱線紫外線カット剤では  
トップレベルの性能

赤外線遮断率 93%以上  
可視光透過率 75%以上  
紫外線遮断率 98%以上



# 4. 施工写真



# 5. データー1

第2号様式

## 成績書

工 技 素 5 2 号  
平成 2 0 年 7 月 1 8 日

有限会社 九州リフォーム技研 様

鹿児島県工業技術センター所長

鹿児島県  
工業技術  
センター  
所長  
印

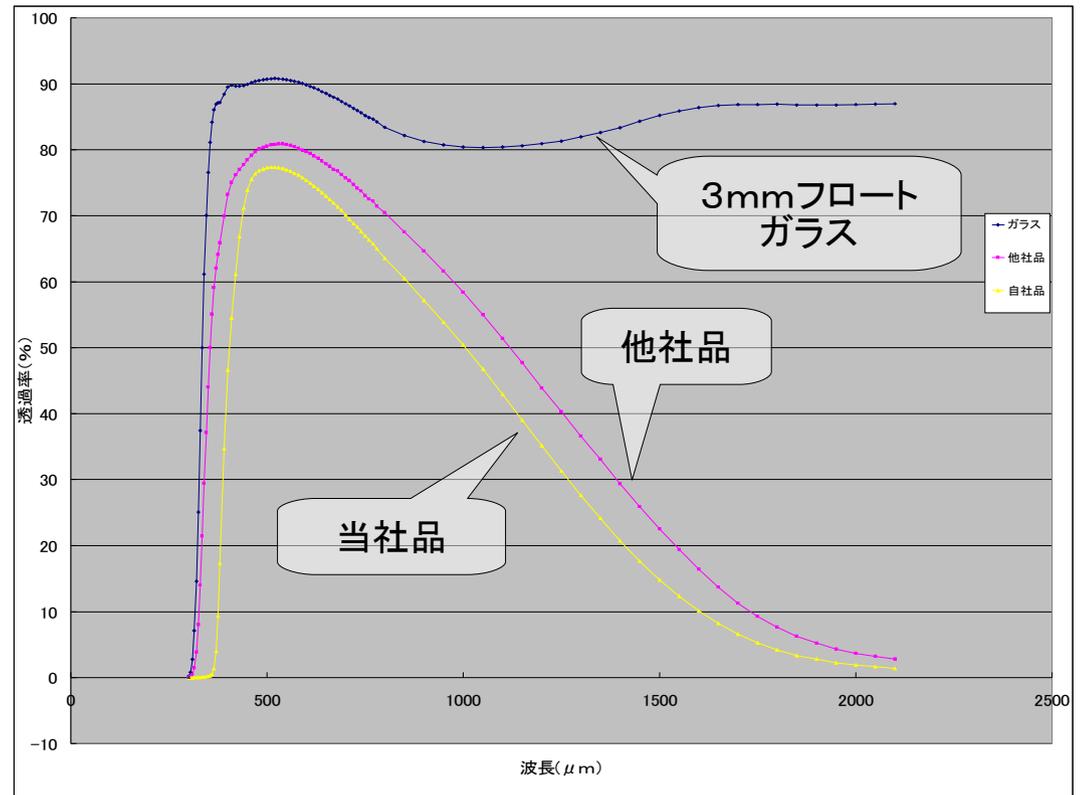
- 依頼者 住所 鹿児島県始良郡始良町三拾町1397-2  
会社名 有限会社 九州リフォーム技研  
職・氏名 代表取締役・重野 勉
- 依頼年月日 平成20年7月18日
- 試料 依頼者持込み
- 品名 I R U V カットリスタ
- 産地もしくは製造地 申出無し  
(ただし、4、5は依頼者の申出による)

上記の試験結果は、下記のとおりです。

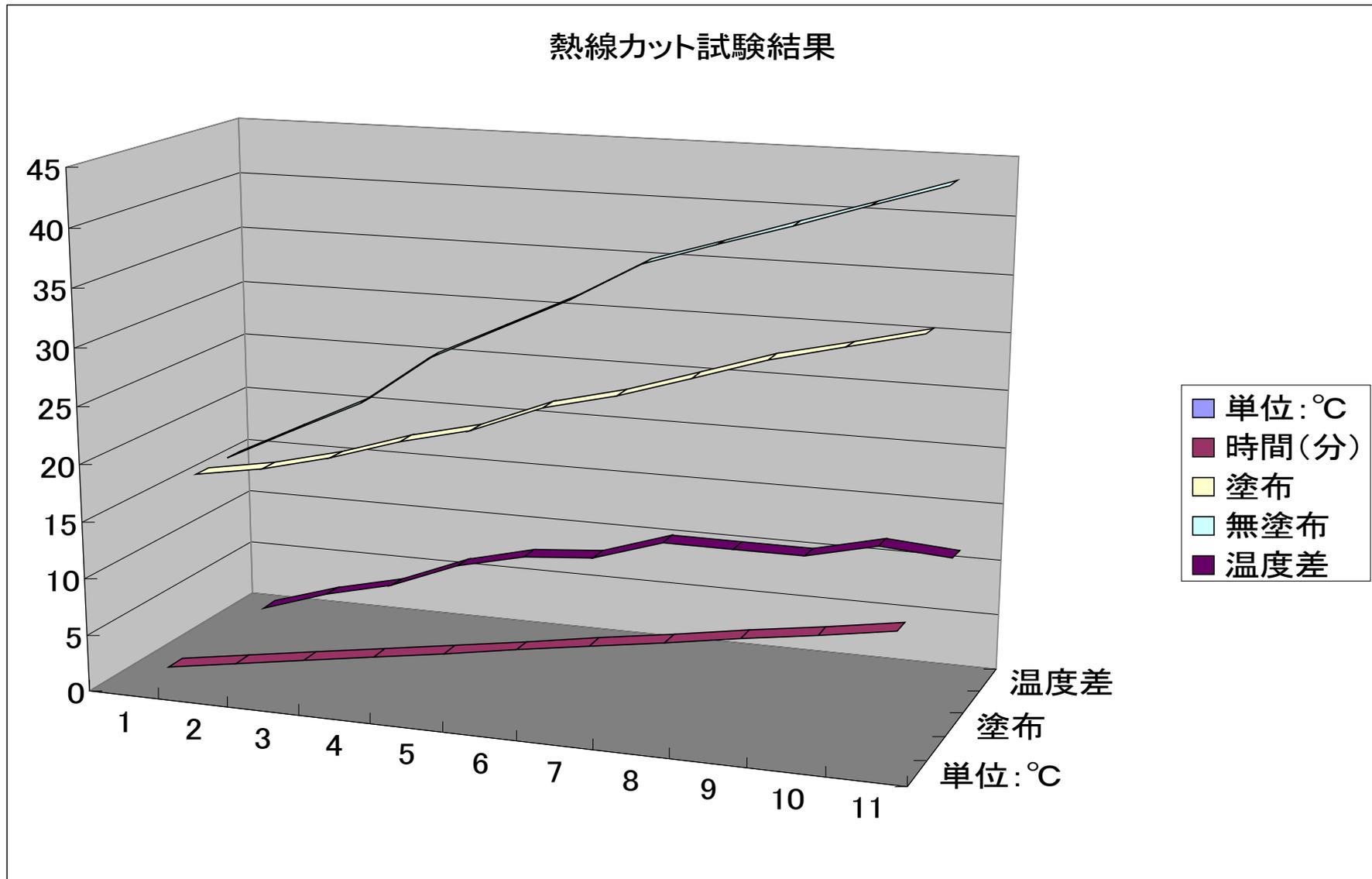
< 試 験 >  
 試験項目：透過率  
 試験方法：JIS R 3106「板ガラスの透過率・反射率・放射率・日射熱取得率の試験方法」  
 試験装置：積分球内蔵試料室付属の紫外・可視・近赤外分光光度計  
 (樹島津製作所製 UV-3150, 積分球内蔵試料室 MPC-3100)  
 試験条件：標準試料：硫酸バリウム、波長範囲：300~2500nm, スキャン速度：中速,  
 スリット幅：(20), サンプリングピッチ：0.1  
 試験結果：波長ごとの透過率と日射透過率を表に示す。

波長(nm)	ガラス板	他社	自社	波長(nm)	ガラス板	他社	自社
300	0.19	0.01	-0.01	410	89.57	75.05	54.49
305	0.79	0.09	-0.01	420	89.54	76.17	61.17
310	2.65	0.42	-0.01	430	89.55	77.01	66.9
320	14.14	1.47	0	440	89.58	77.73	71.17
325	24.43	3.84	0	450	89.78	78.48	73.91
330	36.57	8.01	0.02	460	90.04	79.15	75.5
335	48.9	14.05	0.04	470	90.29	79.71	79.36
340	59.95	21.46	0.07	480	90.44	80.09	79.85
345	68.79	29.47	0.1	490	90.53	80.39	77.1
350	75.38	37.15	0.14	500	90.6	80.59	77.28
355	75.38	44.04	0.19	510	90.67	80.75	77.36
355	80.09	50.04	0.28	520	90.69	80.83	77.36
360	83.35	55.06	0.54	530	90.68	80.86	77.28
365	85.4	59.1	1.4	540	90.64	80.86	77.18
370	86.37	62.03	3.98	550	90.59	80.82	76.99
375	89.63	64.11	9.35	560	90.46	80.65	76.74
380	89.62	65.92	17.32	570	90.32	80.47	76.46
390	86.11	69.91	34.7	580	90.15	80.23	76.15
400	89.34	73.25	46.6	590	89.96	79.97	75.77

(注) 本成績書の偽造、変造を禁止する。



# 5. データー2



## 6.まとめ

CO<sub>2</sub>排出削減、エネルギー削減は地球の環境を守り、次世代に渡すべき早急に取り組むべき課題で、現に、欧米では活発な動きを見せており、CO<sub>2</sub>排出量を証券化しての売買も行われています。

日本でも、CO<sub>2</sub>排出削減は、ここ数年、大手企業から始まり中小企業に広がりを見せております。

ナノ技術は日本がトップレベルです。

IRUVカッタースタで

紫外線、熱線をカットして

省エネルギー、経費削減、CO<sub>2</sub>削減を！！